

地域支援事業について

地域支援事業は、被保険者が要介護状態または要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的としています。

この事業の財源は、介護保険料、国県の補助金、市の負担となっています。

◆各年度の予算額(令和5年度は現時点での予算要求額)

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額	157,445千円	163,611千円	166,749千円

令和4年度と比較して3,138千円(1.9%)増額要求しています。

[主な増額事業(令和4年度比)]

・配食サービス経費	632千円増
・在宅医療連携推進事業	961千円増
・緊急通報装置保守経費	一般会計より移行

◆事業構成(主な事業を抜粋)

事業		内容	令和5年度予算案
介護予防・生活支援サービス事業 (総合事業)	訪問型サービス	総合事業対象者、要支援者(要支援1、2)の訪問介護	基準緩和型委託料 ※ 600千円 サービス費 25,000千円
	通所型サービス	総合事業対象者、要支援者(要支援1、2)の通所介護	サービス費 65,700千円
	ケアマネジメント費	訪問型、通所型サービスを利用する際のケアマネジメント費	サービス費 8,200千円
一般介護予防事業	介護予防普及啓発事業	・からだづくり教室(フレイル予防) ・各種介護予防教室・出前講座等	3,345千円
	高齢者安心支え合い事業	・ささエール会員の養成 ・ささエール会員のマッチング・ポイント交換	791千円
	地域介護予防活動支援事業	自主グループ(25団体)の活動支援(補助金交付)	1,156千円
	地域リハビリテーション活動支援事業	・リハビリテーション職を活用した相談事業、介護予防教室 ・シルバーリハビリ体操講習会	826千円

事業	内容	令和5年度予算案	
包括的支援事業	地域包括支援センター運営経費	地域包括支援センターの委託料	41,920 千円
	高齢者成年後見制度利用支援経費	成年後見制度の申立手数料や成年後見人受任報酬等の経費	2,584 千円
	地域ケア会議開催事業	専門職により構成される介護予防支援会議の経費	120 千円
	在宅医療連携推進事業	・医療と介護の連携を促進するための講座や研修等の開催 ・周知啓発のためのガイドブックの作成	2,098 千円
	認知症総合支援事業	・認知症カフェや講座・講演会の開催 ・認知症相談業務 ・認知症予防教室	1,086 千円
	協議体・コーディネーター支援事業	・住民の助け合いを推進する仕組みづくりのため生活支援コーディネーターを委託 ・協議の場(協議体)の開催	3,124 千円
任意事業	配食サービス経費	健康状態に不安を持つひとり暮らし高齢者への昼食の配達と見守りを実施	5,352 千円
	家族介護支援経費(クーポン)	市民税非課税世帯で要介護4・5の在宅高齢者の介護者へ、介護用品(紙おむつ等)購入に使用できるクーポンを発行	1,307 千円
	緊急通報装置保守経費	健康不安を持つひとり暮らし高齢者宅と消防本部との間に緊急時における通報体制を整備	1,953 千円

※ 瑞浪市シルバー人材センターが実施する緩和した基準によるサービス(訪問型サービスA)
…1回につき129円から、週1回まで利用可能